



▲ブルネイ・ダルサラーム国 国会議事堂

世界で愛されている「三州瓦」

全国の粘土瓦生産量に占める三州瓦の割合は、約70%にのぼる。平成18年には、地域に根づいた産業であり、信頼できる品質や高い知名度などが評価され、屋根材として「地域ブランド」(地域団体商標)第1号に認定された。シェア・性能ともに「日本の瓦の代表選手」である。去る9月18日には、市を挙げて三州瓦をPRして「ふるさと名物応援宣言」をした。(P13参照)

愛知県陶器瓦工業組合によれば、三州瓦の年間販売枚数(平成26年)は約2億8,600枚。販売先トップ3は、愛知県(9.6%)、福岡県(7.8%)、埼玉県・茨城県(4.6%)とのこと。また、国内にとどまらず、台湾・フィリピン・中国・韓国・インドネシア・シンガポール・ブルネイといった東アジア・東南アジアを中心に、中東、北米、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニアにも輸出されており、輸出総枚数は約864万枚(3.0%)だという。これは、一般住宅に使われる瓦の平均枚数に換算すると、約5,800棟分に相当する。出荷は、洋風でモダンな印象の平板瓦と、日本の伝統的なデザインである和形が主流で、比率は概ね半々の割合だそう。用途は、輸出先の約7割を占める台湾では主に一般住宅に、ほかでは寺院や店舗の外観にも用いられるなど、多岐にわたっている。

三州瓦は地震・台風にも強く、耐久性や断熱性、経済性などにも優れ、「夏は涼しく、冬は暖かい」といわれている。大切な家を風雨から守り、人々の暮らしと健康を守るという大切な役割を担っている三州瓦は、機能・デザインの面からも世界から認められた高品質な屋根材といえよう。

“撮っておき” の たかはま

【第44回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。



▲フィリピン 宿泊施設
(写真提供：愛知県陶器瓦工業組合)



▲台湾 一般住宅

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください！(P.16・17)

広報 たかはま

編集・発行／高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2

TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110

<http://www.city.takahama.lg.jp/>

電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。



VEGETABLE OIL INK 広報たかはまは植物油インキを使用しています。